

【目次】

プロローグ 新宿の夜― 一九七〇年代

第一章 新潟 出生～出奔

松崎／小作争議／女工哀歌／カーバイド工場／恋人・小田

第二章 東京 新宿に店を持つ

出奔／編集者・宮田／開戦 兄の出征／空襲／終戦／闇商売／更科の菊や／
乗っ取り／ハモニカ横丁／大学生・黒田／絵描き・朝倉／歌舞伎町／
伴侶・登美雄／拡大する商売／自伝

第三章 転機 熱狂と覚醒

一九六八年 新宿／欧州／ゴーゴー旋風の後／ノアノア再開

第四章 水俣 人間を信じている人たち

水俣訪問／水俣病／自主交渉派／チッソ本社前／荻窪の宿舎／
東京のオアシス／テント撤去 その後

第五章 探訪 木崎争議

芦沼／松崎小作組合／鳥屋浦事件／女房連／無産農民学校／弟・保の体験／
久平橋事件／父の入獄／木崎争議と菊枝／新潟に育てられて

第六章 隠居 東村山暮らし

ノアノア二十五周年記念パーティへの誘い／隠居／絵にとりつかれた夫婦／
弟たち／秀英／義母

第七章 晩年 続く水俣への思い

土本典昭からの手紙／老い／杉本栄子／新潟絵屋／みんなの家／
最後の入院／石牟礼道子の弔辞／メゾン・ノアノア／若槻登美雄

第八章 おるげ・のあ

おわりに

若槻菊枝年譜

主な参考文献

脚注